



「しんかい6500」・「よこすか」 太平洋大航海 NIRAI KANAI

航海の様子を紹介するホームページを開設

6月19日、有人潜水調査船「しんかい6500」と支援母船「よこすか」は、南太平洋を横断しながら深海調査を行う長期航海に出航した。5ヶ月に及ぶこの航海では、太平洋の海洋地殻が生み出される東太平洋海膨や、古い海洋地殻が地球内部に沈み込むサブダクション帯など、活発な地殻活動が行われている海域で、海底の観察調査や試料採取、ホットブルーム（マントル内を上昇する熱い物質の流れ）探査用の地震計の設置・回収、海底地形の基礎調査、熱水生態系の生物学的調査などが行われる。

航海名（ニックネーム）のNIRAI KANAI (Nippon Ridge Arc and Intra-plate Key processes Apprehension NAvigational Initiative) は、奄美・沖縄地方で海の彼方あるいは海の底・地の底に存在すると信じ

られている楽園を意味する「にらいかない」から名づけられた（一般公募）。

海洋研究開発機構では、航海の実施に伴い、その目的や航海概要、船上の日々の出来事などを紹介するホームページを開設。逐次更新し、特に、現場から送られてくる最新の情報が掲載されるログ・ブックのページでは、船上での活動や調査の様子などが文章と写真で楽しく紹介されている。

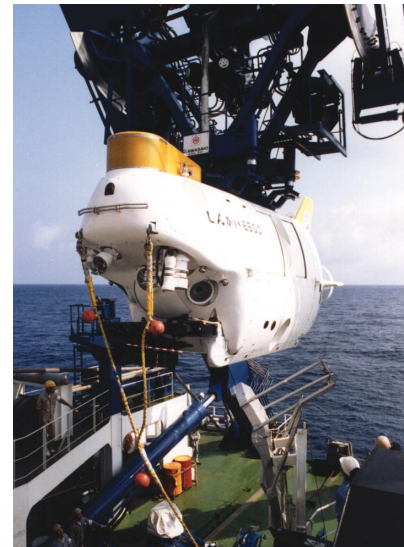


支援母船「よこすか」



NIRAI KANAIのホームページ

<http://www.godac.jp/top/nirai/>
JAMSTECトップページにもリンクボタンがあります。
<http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/index-j.html/>



有人潜水調査船「しんかい6500」



大人も子どももドキドキわくわく 日本科学未来館の ボランティアによる 「実験教室」開催！

海洋研究開発機構横浜研究所では併設の地球情報館や図書館などを一般公開し、研究者による公開セミナーなども開催している。

夏休み最初の日曜日となる7月25日（日）、ここで子どもたち向けの科学イベントを開催した。協力は日本科学未来館。理科の得意な社会人や学生、そして現役の教師まで総登録数777人の未来館ボランティアの中から選りすぐりのメンバーが来館し、「環境」「ロボット」「化学」「発電」の4つのブースで実験を披露した。自転車型発電機をこいで「しんかい6500」の模型を水槽に沈める実験には思わずみんなで大声援。リモコンを使いブロック製のマニピュレータを操作するロボットコーナーでは、子どもたちに混じって熱中するお父さんの姿も。そのほか、コップの水で体験する光の反射実験、

マッチの煙で知る二酸化硫黄の性質、紫外線に反応する「カメレオン絵の具」、ヨウ素に金を溶かす実験など簡単でわかりやすい実験に、小さな子どもたちも楽しそうに会場を回っていた。

例年にない猛暑にも関わらず、近隣の方や地球情報館の友の会の方々がとぎれることなく来場し「来年もぜひ開催して」という声も多く聞かれ、楽しく科学と触れ合う1日となったようだ。



金箔はうまく溶けたかな？ みんなで注目



後ろにある水槽の中の「しんかい6500」模型。さあ、何秒で沈められるか！



マニピュレータで発泡スチロールを運んで、パイロットになった気分



左のコップに水を注ぐと…右のように字が早変わり!?



『おもしろい海・気になる海Q&A』 資源と環境のはなし

日本海水学会／編
工業調査会／刊
2,415円（税込み）

海に関する豆知識を集めた本はこれまでも数多く出版されている。しかし、本書の視点はちょっとユニークだ。編者は日本海水学会。その前身が日本塩学会であることから分かれるとおり、海の中でもまず「水」と「塩」にフォーカスをあわせた。そこから「海のあれこれ」「海水に溶けている資源と水」「海の生物と海底資源」「海の環境を知る」といった章立てで、ミネラルや鉱物、メタンハイドレートといった海洋資源の話、海水の淡水化技術といった産業と海の関係まで、興味深いキーワードが

並べられていく。

エルニーニョ現象や地球温暖化、赤潮・青潮の発生、海砂採取とセメントの関係など、環境問題にも広がる質問は全部で63項目。いずれの問いにも、専門分野の研究者達がしっかりと回答し、海洋研究開発機構も、深海や海洋深層水、気候変動、海洋大循環といったテーマで協力している。海の持つ膨大な恵みと、それをとことん利用してきた私たちとの関係までもが、この1冊から見えてくる。



定期購読のご案内 URL:
<http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/regular/index.html>

『Blue Earth』定期購読のご案内

定期的にお手元に届く便利な定期購読をご利用ください。定期購読を申し込まれる方は、以下の内容を明記のうえEメールかFAX、もしくはハガキにてお申し込みください。
購読するためには、
定価（1冊300円）＋送料
＋振込手数料
が必要となります。

郵便番号・住所・氏名・所属機関名（学生の方は学年）
・TEL・FAX・E-mailアドレス
・定期購読を希望する刊行物名（海と地球の情報誌『Blue Earth』）
・希望支払方法

支払方法

- ・年度一括：申込日以降に発行される号から年度最終号の3・4月号までを一括でお振り込みいただけます。
- ・一誌毎：毎号送付する際に請求書を同封いたします。その都度振込手数料がかかります。

お問い合わせ・申込先

〒236-0001
神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25
海洋研究開発機構
横浜研究所 情報業務部 情報業務課
『Blue Earth』編集室
TEL：045-778-5350
FAX：045-778-5424
E-mail：info@jamstec.go.jp

※定期購読は申込日以降に発行される号から年度最終号の3・4月号までとさせていただきます。申込日以前に発行されたバックナンバーの購読をご希望の方はあらかじめお問い合わせ下さい。バックナンバー参照URL：
<http://www.jamstec.go.jp/pdf/index.html>
※各年度の発行回数は6回（奇数月月上旬予定）